

<参考> 2025年度AiSIAアクセラレーションプログラム（瑞穂公園）

(1) 募集テーマ・連携パートナー

①「スポーツがつなぐサステナブルなまち」

連携パートナー	名古屋グランパス（サッカー「Jリーグ」J1） 株式会社瑞穂LOOP-PFI (瑞穂公園指定管理者、フィールド提供パートナー)
テーマ概要	<ul style="list-style-type: none">• Why（なぜ）：持続可能な未来を創り、名古屋・瑞穂をいつまでも安心して住み続けられるホームタウンにしたい• How（どのように）：「気候変動」をテーマに、試合日の非日常と試合のない日常の双方を実証の場として活用• Who（誰に）：試合日はファンサポーター、試合のない日は地域住民（グランパス認知層～興味層）を対象とする• What（何を）：試合日にスタジアムから排出されるCO₂量を減らすとともに、スポーツを通して市民の環境意識を変えたい

②「ヴェルブリッツ瑞穂ラグビータウン化」

連携パートナー	トヨタヴェルブリッツ（ラグビー「リーグワン」DIVISION1） 株式会社瑞穂LOOP-PFI (瑞穂公園指定管理者、フィールド提供パートナー)
テーマ概要	<ul style="list-style-type: none">• Why（なぜ）：地域住民にヴェルブリッツが愛され、応援することが日常となるような文化を根付かせたい• How（どのように）：ラグビーの価値を届けるため、地域住民とのタッチポイントを増やしていきたい• Who（誰に）：タッチポイントを増やすためのパートナーとして、瑞穂を中心とした名古屋市内の企業、団体、商店街、教育機関などを想定している• What（なにを）：ヴェルブリッツのパートナーを増やし、地域住民からの認知を拡大させる方策を募集したい

(2) 採択件数

名古屋グランパスの募集テーマ「スポーツがつなぐサステナブルなまち」で2件、トヨタヴェルブリッツの募集テーマ「ヴェルブリッツ瑞穂ラグビータウン化」で2件の計4件の提案を一次採択。

その後、名古屋グランパスの募集テーマ「スポーツがつなぐサステナブルなまち」で採択した2件が審査を通過し、実証実験に向けて伴走支援を実施中。

(3) 実証支援費

300万円（消費税込）を上限に、実証実験に要する費用を支援

(4) 今後のスケジュール

2026年3月下旬 成果発表会の開催

（2025年度あいちスポーツイノベーションプロジェクト全体として開催）